

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎0258(0)89-3111)

この冬から「危険物収集」を行います

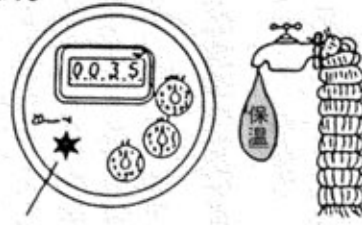
冬期間の危険物収集を、この冬から次のとおり実施致しますので、収集にご協力下さるようお願いいたします。

- 一、収集を行う地域
和南津全域・野田・中山・東部全域・西川口（小和北除く）全域・上川全域・田麦山全域
- 二、収集を行わない地域
竹田・牛ヶ首・小和北・木沢・峠地域
- 三、危険物の収集は、毎月第二・四火曜日です。

- *注意事項
- ◇午前八時までに、除雪作業に支障のないように、定められた収集場所へ、きまりよく出してください。
- ◇前日は、絶対に危険物を出さないでください。
- ◇収集車が通り過ぎた場合は持ち帰り、次の収集日に出してください。
- ◇降雪の多い場合は、次の収集日に出してください。
- ◇収集場所の管理については、みなで協力してください。

水道メーターの検針は冬期間休みます

—冬囲いや凍結防止にも万全を—



蛇口を全部閉めても、この風車がまわっていれば、漏水があります。

冬期間は降雪のため、水道メーターの検針ができませんので、休ませていただきます。この間の水道料金は、推定量で算定し、雪消え後の検針により過不足の精算をさせていただきます。

なお、冬期間は水道管が雪の重みや凍結などで破損し、漏水事故が多発します。水道管の修理や漏水の水道

料は使用者の負担となり、春先の精算時に多額の水道料を払うこととなりますので、冬囲いや凍結防止を十分行ってください。

一年末年始のごみ収集

12月30日(金)	までは平常どおり収集
12月31日(土)	休み
1月1日(日)	休み
1月2日(月)	休み
1月3日(火)	休み
1月4日(水)	以降は平常どおり収集

—今月の危険物収集—

13日(火)・27日(火)

冬期間の不燃物の受付(七曲埋立地)

不燃物(家庭大型危険物及び事業廃)については、冬期間(12月～3月)は受付日時が下記のとおり変更になります。

1. 日時 第2・第4木曜日
午後2時から4時
※テレビ・冷蔵庫等は12月から雪消えまで取扱いません。

2. 受付場所 七曲埋立地
(川口町牛ヶ島地内)

善意をありがとう
日の出さんから町の社会福祉に役立てていただきましたと
十万円のご寄附を頂きました。

人口	6,511人	昭和63年12月1日現在
男	3,176人	
女	3,335人	
世帯数	1,502戸	

収穫感謝祭

11月5日 川口中学校

収穫の喜びをいっぱいにかみしめて
皆んなで餅をつき、収穫を祝う。
笑顔、笑顔、笑顔……がとても素敵。



おもな内容	流雪溝の用水を確保……………2	田麦山小のウェルカム集会……………7
	わんぱく駅伝に友好参加……………3	新潟県青年農業士海外研修から……………8～9
	除雪車出動体制万全に……………4～5	カメラリポート……………10～11
	町政功労者を表彰……………6	スポーツコーナー……………12～14

流雪溝の用水を確保 取水施設、導水管を整備

急ピッチで工事が進む——東部

流雪溝の用水を確保するため、本年度事業として予定されていた東部の「克雪用水確保対策施設整備」の工事が、県の補助を受けて、現在行われています。

同工事は、水源を、前島堰

に流れ込む自然流水に求め、取水施設一カ所、総延長約1kmの導水管が設けられ、工期は、来年三月末となっているが、今冬に試通水を予定しており、現在急ピッチで工事が進められています。

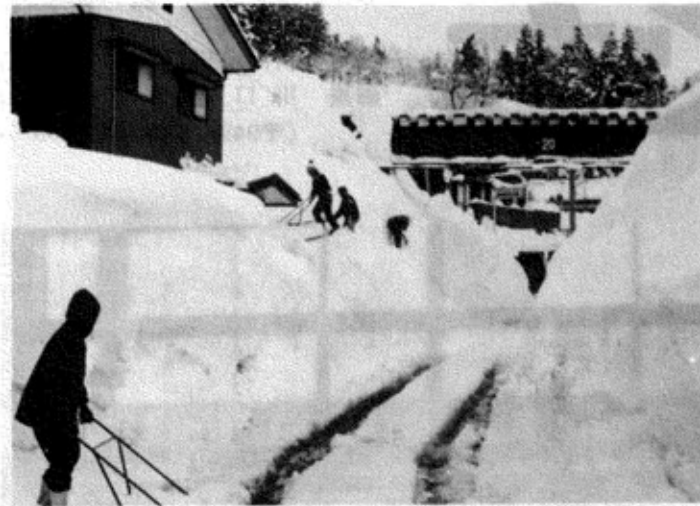
里を進めてきております。現在東部には、約二・五kmの流雪溝が整備されており、この克雪用水工事の完成により、市街地における、屋根雪の処理や道路除雪に大きな期待がかけられています。

なお、流雪溝は、流れる水が十分でないときは、水の流し方や利用時間など、皆んなで協力しないと役に立ちません。

そこで地元では効率的な利用について検討することとなっております。

克雪対策は、雪国に住む人々たちにとっては大きな課題であります。

屋根の雪おろしは、重い負担と危険性も伴い、加えて高齢化が進行するなかで作業能力の低下や、作業員の確保も困難になってきております。特に市街地において、屋根



▲克雪用水確保にもり雪処理が期待される。

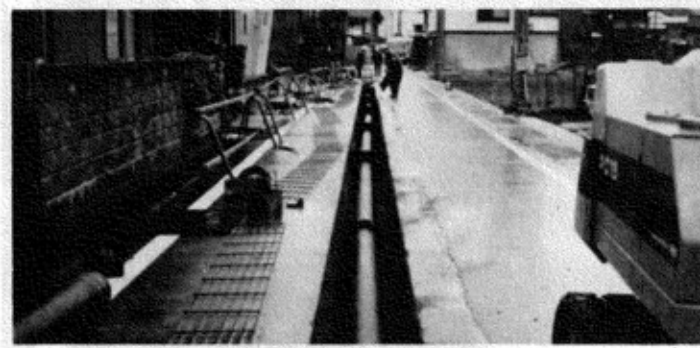
道路の除雪に消雪パイプは大きな効果があります。しかし、地下水を沢山使うため、地盤沈下の原因や資源にも限りがあります。また、雪を水とともに流す流雪溝も大きな効果があります。

こうした中で町では、流雪溝の整備を図り、雪に強い町づく

克雪用水確保 対策事業

雪を道路におろさざるを得ないことから、これを処理するための費用や道路の交通障害を招くなど、社会経済活動に大きな影響を及ぼしているのが実態であります。

こうした中で、国も県、市



▲導水管伏設工事も順調に進む。東部地内で

町村も克雪対策に取り組んでいます。当町は、今年度新たに国の「克雪タウン計画」推進事業を実施する町の指定を受けています。

同タウン計画は、冬の居住環境を総合的に向上させ、当町の特性に応じた「雪に強いまちづくりを進めるもの」で現在その基本計画の策定が進められています。

流雪溝の整備や克雪用水の確保、今年度四月からスタートした克雪住宅資金貸付制度など、着々と雪に強い町づくりに向けて一歩前進しております。

なお、克雪住宅資金貸付金制度を利用した方は、いまままでに五人が利用しております。担当課(土木課)では、新築又は改良する機会に、是非この制度を利用して下さいと、呼びかけています。(詳しいことは土木課にご相談ください)



狛江市との親善交流

わんぱく駅伝に友好参加 今年も上位に入賞

の二チームで、教育委員会が引率しました。

**総合で 若鮎一位
青葉七位**

今年のチームは、昨年参加した者を除いた新人で編成、オープン参加ながら総合で若鮎が一位に、青葉が七位と好成績でした。

青柳町長や父兄の見送りをうけて出発した選手たちは、こうふんしてか前夜は寝ないで引率の人を困らせました。レースでは参加四十四チーム三百五十人の都会っ子の中にまじって、堂々と実力を発揮しました。

**特別賞で
金メダルを受賞**

川口チームは、スタートからトップ集団につけて終始好走、若鮎のアンカー渡辺奨君が、川口からかけつけた大勢



▲立派に親善大使の大役を果たしました。狛江市で

の応援者の見まもる中でテープを切ってゴールイン。青葉も健闘して上位につけ、川口勢の健脚ぶりを都会っ子に見せつけ、閉会式では、川口チームに特別賞の金メダルが増られました。

二チームの選手たちは、メダルを胸にさげて青柳町長に

参加した選手の
ひとこと



若鮎チーム(川口小6年) 渡辺 奨くん

トップでゴールすることができて、うれしかった。参加してよかった。



若鮎チーム(川口小6年) 小見聖仁くん

選手会長の役目を果たすことができた。一位になれてうれしい。
全員がよくがんばった。



青葉チーム(泉水小6年) 宮 徹くん

わんぱく駅伝出場選手(発走順)

区間	距離	学年	かわぐち若鮎チーム	かわぐち青葉チーム
1区	950m	3年	中林拓也	佐藤友和 田麦山
2区	920	3年	浅間敏一	丸山潤一郎 泉水
3区	1,550	4年	星野貴之	森山修 田麦山
4区	1,500	4年	小西広孝	小林和博 木沢
5区	1,550	5年	山田晃寛	山崎司 泉水
6区	1,700	5年	関耕二	大淵貴幸 田麦山
7区	2,200	6年	小見聖仁	森山俊行 田麦山
8区	2,600	6年	渡辺奨	宮 徹 泉水



青葉チーム(田麦山小6年) 森山俊行くん

もう少し上位に入りたかった。みんながんばった。よい体験になった。

一位になれなくて残念だった。みんながんばったし、参加してうれしかった。

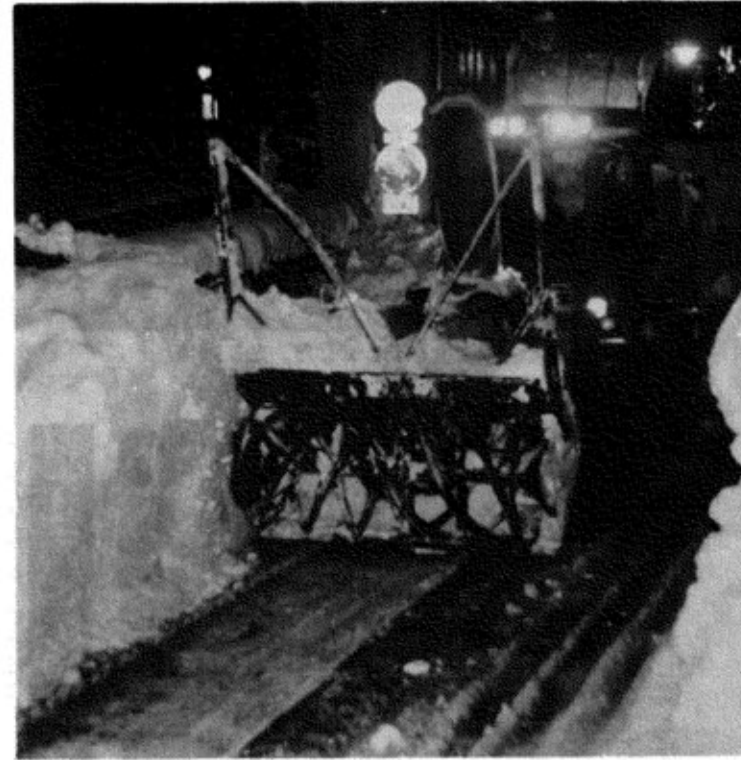
○監督 内山敦夫
○選手会長 小見聖仁

▶メダルを胸に帰町報告
青柳町長から記念品をうける。

冬 本番を迎え 除雪車出動体制万全に

今年は大雪？こんな予報が
出されています。冬本番を迎え、除雪車の出動体制も万全に、今年も、生活の足と雪害防止に道路除雪に努めます。

また、市街地においては、流雪溝の整備も進められており、現在東部では、この流雪溝の用水を確保するため、県の補助事業による「克雪用水確保対策施設整備」の工事が進められております。



ロータリー除雪車 など十一台を配備

町の除雪体制は、十二月一日に除雪隊を結成し、土木課に置かれています。除雪隊は、臨時オペレーターを含む二十五人で編成され、昨年増強した除雪ドーザー、ロータリー除雪車一台を加え、全部で除雪ドーザー四台、ロータリー除雪車五台、雪上車一台、歩道除雪車(建設省貸与)一台の除雪機械を配備して、道路の除雪や圧雪、歩道除雪にあたります。

町道の除雪路線は百十五路線、五十八キロで、国・県道あわせると総延長九十五キロになります。

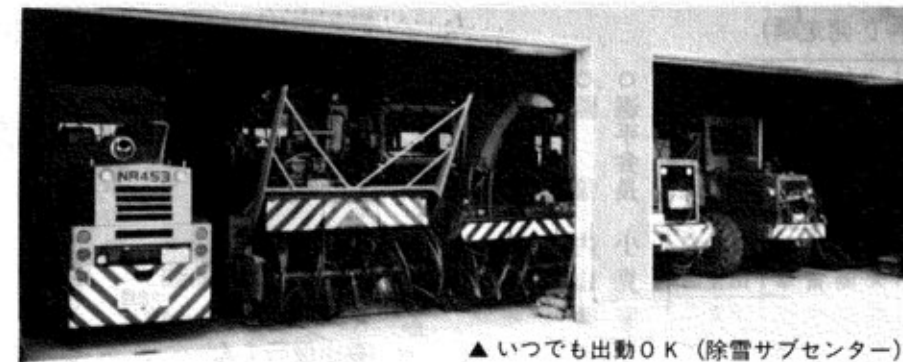
この内「県道を町が受託して除雪する路線」、「県と町が相互乗入(除雪)する路線」に、「町道を県が除雪する路線」とがあり、相互の協力体制の下で除雪が進められます。

今冬の除雪目標

また、国・県が行う国道、県道除雪にあわせ、町道除雪を効率的に円滑に進めるため、除雪路線を「常時除雪路線」と条件付除雪路線(期間除雪、運搬除雪、春先除雪)に分けて行います。そして、この除雪区分による除雪目標は次のとおりです。

- 常時除雪路線
一車線の幅員を確保し、常時交通を確保する路線(ただし、異常降雪時には一時交通不能となる路線も含まれます。)
- 条件付路線
期間除雪路線
部活の要望により、新規に余力の範囲内で、一定期間又は一定の積雪まで除雪する路線です。
- 運搬除雪
市街地の路線において、道路状況や積雪状況により常時除雪を確保するための路線。
- 春先除雪路線
除雪期を過ぎた春先に除雪する路線

国道十七号(建設省委託)の歩道を除雪します。
町の除雪隊は、まだ暗い朝三時頃から出動します。まず幹線道路の確保に努め、通勤通学に間にあうよう午前七時半頃には除雪が終わるようになっています。



▲いつでも出動OK (除雪サブセンター)

皆んなで

除雪に協力をお願いします

- 除雪を円滑に進め、生活の足を確保するためには、機械力やそれにたずさわる人たちの力ばかりでなく、私達一人一人が、お互いの立場になって協力し合うことが必要で、これが一番大きな力になります。次のことについて、協力をお願いします。
- 除雪路線内に駐車しないこと。
 - 除雪路線両側の民地へ投雪及び雪の押し出しについて了承願います。
 - 屋根の雪を道路内に落とし、た場合は、必ず後始末をすること。(必ず一車線を確保して下さい)
 - 危険箇所、越冬池、道路から見えにくい下屋のある所等には、標識(赤旗等)を設置して下さい。
 - 除雪作業中は除雪車に近寄らないこと。
 - 除雪路線内の支障物件を除き、今年も次の町道が駐車禁止となります。

除雪のお問い合わせ先

- 国道—建設省小出維持出張所 (02579)2-0839
- 県道—川口除雪ステーション 89-2052
小千谷土木事務所 82-6361
- 町道—役場土木課 89-3111 (内線23)
除雪サブセンター 89-3711

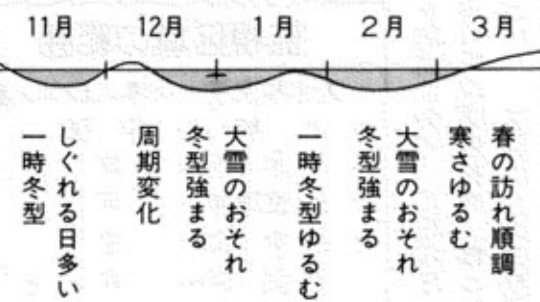
北陸地方3か月予報 (12月~2月)

この冬は冬型の気圧配置となる日が多く、大雪のおそれがあります。降雪量と最深積雪は平年より多くなる見込みです。

- 予報の概要** ●この期間は、1月を中心に平年に比べ寒い日が多いでしょう。降雪量は平年より多く、大雪のおそれがあります。
- 12月の予報** ●月半ばには穏やかな日もありますが、その後は冬型の気圧配置が強まり雪の日が多くなるでしょう。
- 1月の予報** ●冬型の気圧配置が強まり、大雪のおそれがあります。
- 2月の予報** ●引き続き平年に比べ寒い日が多く、大雪のおそれがあります。

昭和63年11月21日
新潟地方気象台発表

寒候期予報おおよそのイメージ



今回の予報のポイント

- 冬を通してのイメージは寒冬タイプ。冬の訪れも早い見込み。降雪や最深積雪も平年より多くなる。
- 12月前半は冬型は長続きせず、天気は周期的に変わるが、12月後半より1月前半には冬型が強まり、大雪の降るおそれがある。12月の降雪量は前半は少なめだが後半は多くなり、月としても多くなる。
- 1月後半には一時冬型が緩むが、2月には再び冬型が強まり大雪の降るおそれがある。1月・2月共に低温で降雪量は多くなる。
- 3月に入ると寒さは次第に緩み、春の訪れは順調と見る。気温も平年並にもどる。

町政功労者を表彰

堀沢 政栄さん(野田)
真島 淳さん(町職員)

文化の日の十一月三日、町政功労者の表彰式が、役場議場で行われた。

今回、表彰された方は、地方自治の振興に尽した堀沢政栄さん(野田)と真島淳さん(町職員)の二人です。

堀沢さんは、町選挙管理委員会委員及び明るい選挙推進員を十六年間の長きに亘って務められ、選挙の厳正と明るい正しい選挙の推進に貢献されたものです。

真島さんは、昭和三十三年に町役場職員として奉職(現在土木課長)し、自治行政の充実発展に貢献されたもので二人に対して、青柳町長から表彰状が授与された。

献血功労者に表彰

日本赤十字社では、献血に協力された方の表彰を行っています。

このたび、次の方々が表彰されました。
◆金色有効章(献血50回以上)

・森山文夫(川口七) ◆銀色有効章(献血30-49回)
・上村 隆(長坂)



適正なりゾート整備に 地価の高騰を抑制

監視区域に指定される

国土利用計画法では、一定面積以上の土地取引(売買など)について、事前の届出制を設けています。

このたび、新潟県では、地価の上昇を未然に防ぐため、十一月十五日から川口町の一部の地域について、届出を要する面積の基準を引き上げた。「監視区域」に指定しました。

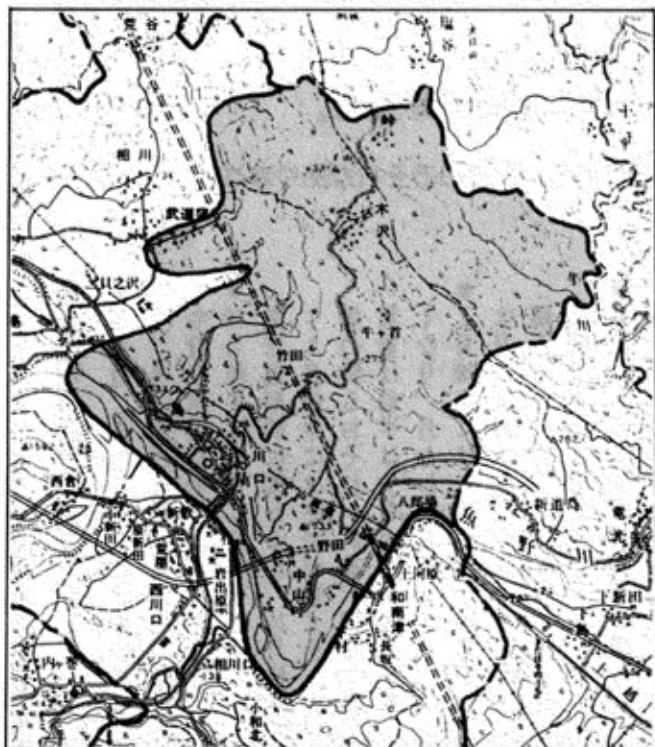
監視区域では、二、〇〇〇㎡以上の土地取引について、事前に届出が必要となります。

(なお、「監視区域」以外の所は一〇、〇〇〇㎡以上です)川口町は都市計画区域外に該当。

「監視区域」に指定された地域は次の通りです。

魚野川左岸、信濃川左岸で囲まれた地域(リゾート重点整備地区)。

―下図参照―
「監視区域」の指定は、新潟県のリゾート構想)の重点整備地区。



監視区域の範囲

大字和南津一字滝ノ上・沖ノ島
// 峠 一 全域
// 木 沢 一 //
// 武道窪 一 //
// 中山 一 //
// 川 口 一 //
届出面積 2,000㎡

◇お問い合わせ、ご相談は川口町役場総務課(☎八九一三一一)又は県企画調整部土地利用対策課(☎〇二五一一八五―五五一一)

陳慧蓉さん(マレーシア) ブッソー・タンバさん(リベリア)

を迎えて

外国人留学生と交歓会

田麦山小学校で、六月に続いて二回目の外国人と交歓する、ウエルカム集会がありました。

今回の集会に参加してくれた人は、二回目の陳慧蓉さん(マレーシア)と、初めてのブッソー・タンバさん(リベリア)。

マレーシアは人口約千百万人、陳さんは中国系の独身女

性。リベリアは、アフリカ西海岸の人口約百五十万人の共和国、タンバさんは三十五歳の黒人男性。

二人は国際大学で勉強中ですが、自分の国で大学を卒業し日本に留学しているもので、陳さんは来年帰国すれば大使館に就職が内定しており、タンバさんは外務省勤務の役人さんで、二人とも国費留学とのこと。

子供たちは、全員で「まっかな秋」をうたって民族衣装の二人を迎え、集会では、外国の学校や子供の様子などを話し、歌をうたい、折り紙や鬼ごっこで遊んで楽しい交歓となりました。

タンバさんは日本語はだめですが、言葉はなくても心は通じ、黒人ということもあって、子供たちの人気が集まり印象を深めたようで、国際理解もまた一歩前進しました。

税の標語で入選

税金を納めて明日への橋づくり

川口中学校 広井義弘
今年度の「中学生の税に関する標語」で、広井義弘くん(川口中二年)の作品が、小千谷税務署長賞優秀に入選しました。

標語は、小千谷税務署管内中学校の千八百九十名から応募があり、審査の結果、関東信越国税局長賞優秀一編、佳作一編および小千谷税務署長賞優秀十七編が入選したものです。

ふれあい ちびっ子国際交流パートII

田麦山小のウエルカム集会



▲ 自国の子供たちの話しをするお二人



▲ 折紙と一緒に習う陳慧蓉さん



▲ 給食を共に楽しく過ごすブッソー・タンバさん



支払調書の提出は1月31日まで

税務署

- ◆ 給与所得の源泉徴収票と給与支払報告書
- ◆ 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書
- ◆ 不動産の使用料等の支払調書
- ◆ 不動産の譲受けの対価の支払調書

食事は昼食が中心で、朝夕食は簡単なものでした。自動食器洗いがあり、日本にもあるかと聞いたので、私の家にはないと答えると、それでは買ってやりなさいと、勧められました。

お互い言葉もうまく通じなく、苦労しましたが、ドリユクセル家の暖かい持て成してほんとうに楽しく過ごしました。また、合理的で勤勉なドイツの農民魂に、直に触れたこととなり、私にとって大変良い経験となりました。



▲ドリユクセル家には10月26日から5日間滞在しました。楽しいひと時です。ドリユクセル家の子供とカルタ遊び……

県内の青年農業士が欧州視察

川口町から江島一夫さんが参加

～新潟県青年農業士海外研修から～



▲青年農業士17名が参加して行われた海外研修オランダアイセル湖に立つ江島さん

今年度の「新潟県青年農業士海外研修」に、川口町から江島一夫さん(三十歳・牛ヶ島)が参加しました。

この海外研修は、青年農業士を海外に派遣し、国際的視野や体験を通して、地域農業の推進力となってもらおうという目的で、毎年県が実施しているものです。

西ドイツ農家に滞在して

「ありがとうドリユクセル家」

—ホームステイより—

朝霧の中に広がる牧草地、その先に見える豊かな森林。空気が澄み、手入れのゆきとどいた耕地がどこまでも続きほんとうにヨーロッパを感じさせる風景です。

私のお世話になったドリユクセル家は、ミュンヘン西約五十キロにあるランツバーク郊外にあります。家族は、実直で勤勉な主人と、明るく美しい奥さん、ロー人形の様にかわいい娘と息子の四人です。大変動物好きで、一匹の馬と三匹のポーターコリイ犬、二匹のネコに二羽のインコがいました。奥さんにはい

今年度の参加人員は十七名で、参加者は、各市町村長の推せんを受けて、県内各地域から選ばれた、青年農業士の人達。江島さんは魚沼地域から選ばれて、研修の念願が果たされたものです。

同研修は、去る十月二十一日から十一月六日、十七日間の日程で行われ、イタリア、

つも笑顔を絶やさず、明るく接していただいたので、ほんとうに楽しく過ごさせていた



▲主な仕事は朝・夕の給餌と搾乳

オランダ、西ドイツ、フランスの欧州四カ国の農業視察と、西ドイツでは、四泊五日のホームステイ(農家に滞在)をしておりです。

このほど、その研修手記を寄せてくれました。ご紹介し

できました。

経営は、森林二十ヘクタール、永久草地十七ヘクタール、畑二十三ヘクタールあり、搾乳牛四十頭、子牛十頭の複合経営をしていました。畑には大麦、小麦、トウモロコシ、シュガービートが作付されており、今年は大豊作であったそうです。乳牛はツェーメンタールという牛で、一頭平均年約五千リットルの搾乳、脂質四・五%、タンパク質三・五%、七℃に保冷し、毎日回収車が来ていました。回収車は十一トトラック程の大きさがありましたが、来週は、私が運転すると奥さんが言っていました。

私のお世話になった時期は比較的農閑期のように、主な仕事は、朝夕の牛の給餌と搾乳でした。牛舎やその周辺は

奇麗に整理されており、働いていて気持ちが良かったです。夕方牛の給餌をしている時でした。奥さんが、なにげなく素手で牛のおしりに手を入れたのには驚きました。女性も良く働き、かつ、仕事そのものにもかなり精通している様で、牛舎はスノコ式で、糞の掃拭はしなくてもよい様になっており、堆肥がないので臭いがなく、ハエもほとんどいなく大変清潔でした。

農機具では、トラクターのアタッチメントの着脱があまりにも簡単に出来る様になっているのには感心しました。



訪れた時はシュガービートの収穫が行われていた。主人と一緒にトラクターで

農地の貸し手には奨励金が交付されます

貸付期間 交付要件等	3年以上～6年未満	6年以上～10年未満	10年以上
新規貸付	農地……………8,000円 採草放牧地……………1,600円 未墾地……………4,000円	農地……………20,000円 採草放牧地……………4,000円 未墾地……………8,000円	農地……………30,000円 採草放牧地……………6,000円 未墾地……………12,000円
更新貸付 (再設定)		農地……………16,000円 採草放牧地……………3,200円 未墾地……………8,000円	農地……………24,000円 採草放牧地……………4,800円 未墾地……………12,000円

* 現在の奨励金交付額(10a当たり)

農用地利用増進制度
来年一月から奨励金交付要件
が変わります
届出は早目に

農地の有効利用を図るための、農用地利用増進制度が始まって十年になります。

同制度では、農地の貸し手に対し、奨励金が交付されていますが、来年一月から、この奨励金の交付要件が厳しくなります。

そこで、現在無届けの小作地や今後小作に出したいと考えている方(地主)が、至急届け出た、至急届け出してください。

詳しいことは、地元の農地流動化推進員又は役場産業課へ問合せください。

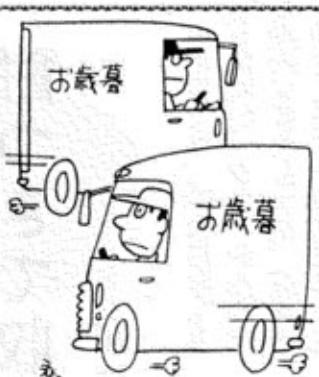


今年が辰年なので、昨年暮れのお歳暮は、竜のおとし子ガ話題になりました。

今年も、来年の巳年にちなんで、マムシやハブを材料に使って「スタミナ」を売ろうという、奇をねらったギフトも出ているようで、歳末商戦もいよいよピークを迎えようとしています。

お歳暮

親や仕事上の親方など目上の人の健康を祝福するために、米やモチ、魚などを携えて出向いたことから起こった風習のようです。今も、「親の膳」な



そこで運輸省では、十二月十日から一月十日まで「年末年始の輸送等に関する安全総点検」を実施します。

この時期、マイカーの整備を怠らぬよう念入りに行うとともに、運転も車間距離を十分とるなど、慎重にしたいものです。そして、シートベルトをくねくねも忘れな

どといつて、正月や盆に魚をそえた膳を親元に持参するところがあるそうです。そのあと目上の人からお返しをするのが普通とされています。

昨年の間は、十二月二十日から一週間ほどの間が一般的です。

最近では、商品券などがかなり出回っているようですが、まだまだ現物が多そうです。

ところで、年末年始は、一年のうちでも最も荷動きの激しい時です。もちろん、人の往来も盛んです。このため、一度事故が発生すると、大事故につながる恐れが多分にあります。



▲弓矢を払って四方をきよめる。

火壇も▶



▲火渡りを行う修験者、一般参加の皆さん。▶



十一月六日(日)、牛ヶ島の万覚院で、五十年ぶりに火渡り行事が行われ、町内外から、約三百人がおしよせた。この行事は、修験者が世間の難儀や苦勞、災難、病氣を克服するため、山に入って修行を重ねてきたものを、実際に行い、世間の人から見ても

牛ヶ島で火渡り行事 五十年ぶりに

らい試してもらおうというもので、富山や神奈川県などからも修験者が集まり、約三時間余りにわたって、厳そかに繰り広げられた。

カメラ
レポート

引火しやすい
灯油の「蒸気」
灯油をはじめとする石油類は、一度火がつくと、勢いよ

暖房は冬の寒さを忘れさせてくれる大切なもの。この季節になると、どの家庭でもストーブやコンロが大活躍します。ところで、ストーブやコンロの燃料として、よく使われているものの一つに灯油があります。「灯油の扱いは毎年のことだから慣れていいる」と思っている人も、その慣れからくる油断から取り返しのつかない火災を引き起こすことも少なくありません。

昭和六十二年には、石油ストーブが原因による火災が千六百九十五件もあり、消防法では灯油を「危険物」と指定しているのです。そこで、危険物である灯油の性質を改めて確認し、正しい取り扱いを心がけたいものです。

「水と油」という言葉のとおり、灯油は水よりも軽く、両者が溶けあうことはありません。もし灯油が燃え上がったとしても、「消火のため」に水をかけることはやめましょう。水は火を消すどころか、灯油を四方に広げ、火災を大きくしてしまふからです。灯油を使用するときは、万一に備えて、消火器具をすぐ使える場所に置いておくことも必要です。

この蒸気は一定濃度以上存在すると引火しやすい性質を持っていますので、灯油は火の気のない、風通しのよい所に置きましよう。

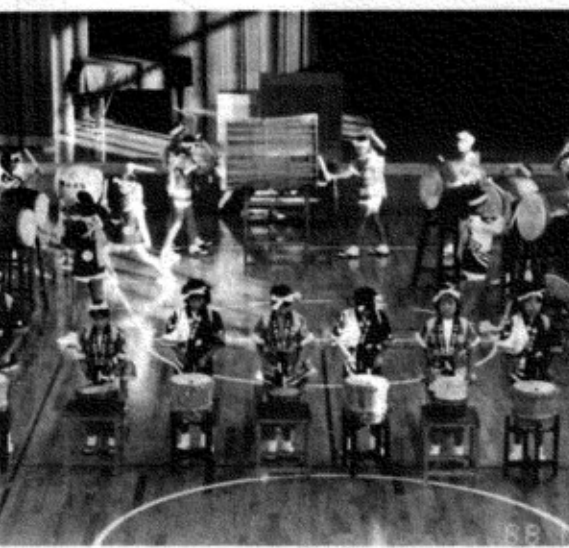
火がついても
水は厳禁

灯油の取り扱いに注意しよう 火事の原因は 慣れからくる油断



▲餅をちぎる女子生徒たち。

▼合同練習や両太鼓の演奏も行われ、福山小学校体育館で一日を楽しく過ごす。



川口あおり太鼓 守門村福山太鼓 が共演

子供太鼓で交歓会

川口あおり太鼓の子供たちが、十一月十二日、太鼓団体の交流で守門村福山小学校を訪れ、福山太鼓の子供たちと交歓しました。これは、他の太鼓団体の演奏を聴いて自分の演奏を見直し、太鼓に対する意欲を高めるために計画され、これが今年のため打ちおさめとなりました。福山太鼓は、川口あおり太

鼓の生みの親である丸山恒久先生が福山小学校勤務となつたのが縁で結成され、丸山先生が指導をしているものです。福山小学校は、守門村の中心から約十二キロはなれた福山新田地区にあり、児童数は二十六人。太鼓は四年以上の十二人で取組み中。当日は、三十五人の川口の子供たちを、福山の子供たち

と区長さんを始め地元の人たち三十人が一緒になって迎えてくれ、基本リズムの合同練習や両太鼓の演奏があり、子供同士のゲームをやって楽しい一日となりました。福山新田地区では、子供だけでなく大人も太鼓に取組んでおり、太鼓によって地域おこしができればと、精を出しているようです。

餅つきで収穫感謝

川口中学校で

中学校では、学校田にもち稲を栽培し、春さきから作業を進めてきましたが、収穫を終ってこの程その感謝祭を行いました。

当日は、田打ちから刈取った稲のはさかけまでの作業分担ごとに、自分の担当した作業についての体験が発表され、それぞれが農業のむずかしさや苦勞を味わったようです。

日本農業の源である稲作りをする事によって、勤勞の尊さや収穫の喜びを体験するのが目的で、春の田打ち、田植えから秋の取入れまで、みんなで協力して取り組んできており、収穫をすませてこの感謝祭へときぎつけました。

自分たちで作った米を、自分たちで餅につき、みんなで雑煮を食べて感謝し、また稲わらを使って縄をない、一人五メートルに挑戦。苦勞した繩は学校の雪囲いに利用されています。



▲餅をちぎる女子生徒たち。



▲田麦山小学校グラウンドをスタート。

走る仲間づくり体力向上親睦に 四十三チーム、二百五十人が参加!!

田麦山駅伝 今年も盛大に

六花園チームが健闘!!

レースは、田麦山路を走り抜く八・五キロ(小学生、女子、壮年)、十六キロ(一般)のコース五区間で行われ、白熱したレースが展開された。特に、今回で三年連続出場した六花園(堀之内町)チームが健闘し、沿道の盛んな拍手を受けていた。また、今年も原小学校(堀之内町)の子供たち六チームが参加し、地元の子供たちとの熱い戦いが繰り広げられ、大会を一層盛り上げた。そして子供たちは、かけつけた家族の声援をいっばいに受け、力強く、たくましく、レースに挑んでいた。

この日は、絶好のマラソン日和。開会式では、「年々盛大に行われ、特に子供たちの



▲今年で3年連続出場の六花園チーム(堀之内町)全員が健闘し、頑張る!

参加が多く喜びこんでいます」と、同振興会長。

また、来賓祝辞で、桜井教育長は「最近、生涯学習という言葉が盛んに言われています。スポーツを生徒を通してやることも、生涯学習の大切な分野であります。皆さんの健闘を祈ります」と激励した。

同振興会では、今年の夏、富士登山と富士山頂ノンスト

ッパマラソンに挑戦し、成功するなど、活発に取り組んでいます。

田麦山スポーツ振興会

います。今年も、町内の走るスポーツの最後を飾り、その幕を閉じた。

田麦山駅伝に参加して

六花園チーム
指導員 佐藤和博

今回で三度目の参加をさせていただきました。毎回思いますことは、豊かな自然の中を走れる楽しさと地元の暖い声援を受けて、力いっぱい走れることこのうれしさです。

我園では、生活訓練・作業訓練を通して、生きる喜び、働くことの大切さなどを身につけると共に、一人の人間として幸せに生きられるよう、職員は彼らの手助けをしています。

毎年、堀之内町では十五夜に駅伝があり、毎年参加しています。猛暑や雨の中

でもグチを言うことなく練習しており、その苦しさを耐えぬくことは、いずれ彼らの血となり力となつて現われてくることでしょう。

園生の中にも走ることを生活の一部としてとらえている人もいます。

今年の田麦山駅伝では地元の大瀧くんが予想以上にがんばり、予想以上のタイムが出ました。来年はさらに参加する喜びと、今年以上の成果を目標に皆さんでガンバっていきなさいと思います。

スポーツの町宣言

田麦山親善駅伝競走大会は(主催)田麦山スポーツ振興会・会長 森山正夫(十一月十三日(日)、四十三チーム(二百五十人)が参加し、今年も盛大に行われました。

同大会は、昭和五十三年の東京ノンストップ駅伝の成功(同振興会)を記念して、走る仲間づくりや地区民の体力向上、親睦を狙い、毎年この時期に行われているもので今年で第八回目を迎えた。

田麦山駅伝結果

- 小学生・女子・
庄年の部
八・五キロ
- 小学生男子
- 一位、田麦山A(森山徹、佐藤秀明、桜井祐一、大瀧貴幸、森山正慶)
三十四分三秒
- 二位、和南津少年野球A(丸山理、佐藤芳典、丸山光太、佐藤智之、渡辺奨)
三十四分五十五秒
- 三位、男泉水(綱将則、関圭一、山崎学、宮徹、山崎司)
三十五分十一秒
- 小学生女子
- 一位、泉水女子(平沢寛美、丸山麻美子、丸山華織、宮由枝、保科美佳子)
三十五分四十秒
- 二位、田麦山女子A(桜井由美、佐藤亜矢子、森山智子、大瀧容子、山崎圭子)
三十八分四十一秒
- 三位、川岸B(渡部恵、星野江梨子、山田佳子、佐藤未央子、長楽幸世)
- 一般の部
十六キロ
- 一位、川口中A(樋口幸夫、中林鋭次、笹崎進吾、大瀧竜也、岡村憲良)
五十五分五十二秒
- 二位、川口B(関正剛、川上哲夫、阿部則夫、佐藤宏則、山田浩太郎)
五十七分五十五秒
- 三位、東部(渡辺久治、目黒達也、星野敏弘、山田稔、山吉朝彦)
五十八分十三秒
- 区間記録
- 第一区(四キロ) 関正剛
十三分四十七秒(川口中B)
- 第二区(三・六キロ) 小林清
十二分二十五秒(木沢)
- 第三区(一・七キロ) 笹崎進吾
五分四十七秒(川口中A)
- 第四区(三・〇キロ) 大瀧竜也
十分六秒(川口中A)
- 第五区(三・七キロ) 山吉朝彦
十二分三十一秒(東部)

タスキリレーも盛大に

川西神社安全祈願西川回一周

西川口公民館

第四回目を迎えた「川西神社安全祈願西川回一周タスキリレー大会(主催)西川口公民館」は十一月六日、九千一百(百十名余)が参加し盛大に行われました。

同大会は、部落対抗で行われ、地区民の安全を祈願し、

神主からお払いを受けて、同神社安全祈願のタスキをリレーするユニークなもの。

リレーは、九部落を廻り十・五キロを十人で継走。沿道からは自分達の選手に、大きな声援と拍手が送られていた。

- 結果
- 一位 岩出原山ノ相川団地
- 二位 中新田
- 三位 新敷



▶全員でお祝



▶安全祈願タスキを受ける



▶川西神社を出発

公給領収証を必ず受けとりましょう!

店の種類	税の計算	税のかからないとき(免税点)
料理店・小料理店	料金の10%	—
バー・キャバレー	料金の10%	—
旅館・ホテル	泊宿(1泊2食)	1人1泊の宿泊に伴う料金が5,000円以下
	宿泊者の追加飲食・夜食・間食等	1人1泊中の追加飲食・夜食・間食等の料金が2,500円以下
	宿泊者の昼食	1人1回の昼食代が2,500円以下
	休憩や飲食などをしたとき	1人1回の料金が2,500円以下
飲食店・喫茶店(大衆食堂・レストラン)	料金の10%	1人1回の料金が2,500円以下
仕出し・出前	料金の10%	1人分の料金が2,500円以下
チケット(宴会場・ホール)	料金の10%	1品の価格が1,000円以下

料理店などの経営者は、みなさんから料理飲食等消費税を受けとったしるしとして、「公給領収証」を必ず渡さなければならぬことになっています。

料理飲食等消費税とは

みなさんが、料理店、バー、旅館、飲食店などを利用した

ときに支払う飲食や宿泊などの料金に応じて納めていただく県税のひとつです。

この税金は、料理店などの経営者がみなさんから料金の支払いを受けるとき、県に代わって受けとり新潟県に納めていただくしくみになっています。

スポーツ少年団が活躍

柔道選手権大会で上位入賞



第二十六回北魚沼郡・小千谷市柔道選手権大会が、さきほど入道瀬中体育館で行われ、川口柔道スポーツ少年団から十一選手が出場、二人が上位入賞をいたしました。

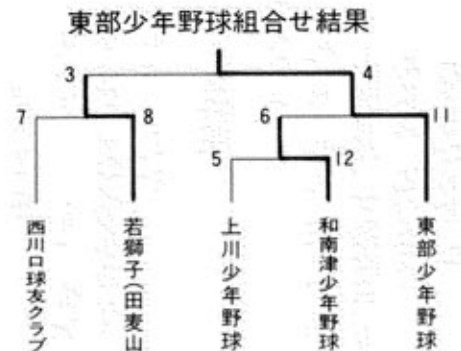
この大会には、都市から百七十人が参加。小学校低学年から一般までの区分で競われ、

本町選手は小学校の部で健闘し、入賞者は次のとおり。

△小学校高学年の部▽
二位 渡辺奨(川口小六年)
△小学校中学年の部▽
四位 喜多村裕介
(川口小三年)

少年野球大会は 東部少年野球に栄冠

第五回の少年野球大会は、町内のスポーツ少年団五チームが参加、熱戦の末に東部少年野球が若獅子を逆転でくだし、町長杯を獲得しました。



町民バレーボール大会

熱戦に幕

今年の町民バレーボール大会は、参加者の都合から夜間試合で行われ、一般(男女混合)八チーム、女子五チームが参加、三日間にわたって熱戦が続きました。

また、今年は小千谷市からも参加があり、戦績は次のとおり。

一般の部
優勝 排友会
二位 ビルダーズ
三位 ベガサス
女子の部
優勝 東小千谷
二位 中山クラブ
三位 川口愛好会

小千谷・川口駅伝大会

川口勢も健闘

小千谷・川口親善駅伝大会は十一月六日、小千谷市体育館から西倉経由で、川口中学校を折返点とする往復三十四キロのコースで実施され、一般、中学男女の三十六チームが、川口からは男女五チームが出場。一般の部で、田麦山チームが上位に入賞しました。

また、走る友の会が出場した山吉朝彦さん(川口一理研精機勤務)が、区間賞をとりました。成績は次のとおり。

一般
一位 走る友の会(小千谷)
二位 田麦山A
三位 月見走(小千谷)
中学男子
一位 東小千谷中A
二位 十日町下条中
三位 小千谷中スキー部A
中学女子
一位 十日町下条中
二位 小千谷南中
三位 十日町中

第一回「私の見た信濃川」写真コンテストに三人入選

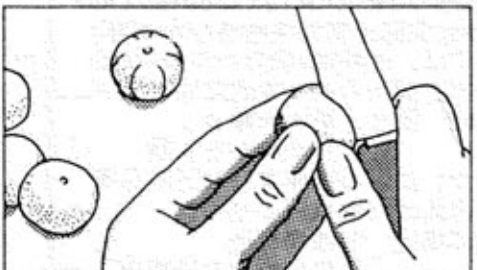
第一回「私の見た信濃川」写真コンテスト(主催 建設省信濃川工事事務所・協賛 北陸建設弘済会・後援 信濃川沿川市町村連絡会)に、町内から三人の方が入選されました。

富田 功(川口一)
阿部和雄(川口二)
星野 智(川口四)

県立青少年研修センター昭和六十四年度「利用予約申込み」の御案内

●利用予約申込みの受付
昭和六十四年一月十一日
●予約申込みは、電話で気軽に御相談ください。
●利用できる人は
・五人以上の団体で、集団で宿泊をして研修しようとする計画を持った青少年・青少年指導者・青少年育成団体・その他所長が認められた人たちです。
●申込みまたは問い合わせ先
西蒲原郡巻町大字越前浜
☎〇二五六(七七)二二二

イラストA



包丁の刃元を使って切り込みを入れる

① きんかんは、包丁の刃元で縦五ミリ間隔に切り込みを入れます。こうすると種が出しやすく、苦みが早く抜けます

- ＜材料＞
- きんかん……………五〇〇g
 - 砂糖……………二〇〇～二五〇g
 - (きんかんの重さの四〇～五〇%)
 - 水……………カップ一

おせち料理に きんかんの甘露煮を

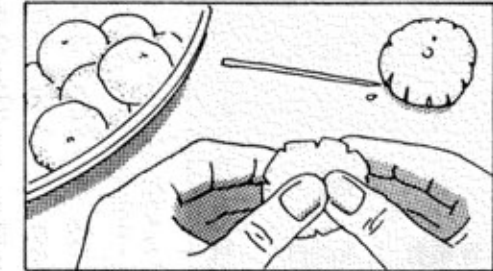
② たつぷりの湯で二～三分ゆでます。ゆで汁は捨てます。

③ きんかんは上下から指で押しつぶし、竹串などをを使って種を取り出します。種を出したら、形を元のように整えます(イラストB)

④ 鍋にきんかんを水を入れてふたをし、中火で柔らかくなるまで煮ます。

⑤ 砂糖を三～四回に分けて加え、こげつかないように、と

イラストB



上下から押しつぶして、皮の間から種を取り出します。

⑥ 冷蔵庫に入れれば、一～二か月もちます。

シロップにつけて保存する

もし、もっと長く保存する場合は、消毒したびんにきんかんを入れ、別に作ったシロップ(水カップ1/2に、砂糖一〇〇g)を熱いうちに注いで脱気、殺菌をします。こうすれば冷暗所で一年はもちます。

あるいは煮含めたあと、そのまま冷凍しても一年ほどもちます。解凍するときは室温で。